



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

家族の中の夫婦愛

鹿兒島教区司教 中野 裕 明



教区の皆さまお元気でしょうか。今回は家族の中の夫婦愛についてお話しします。申すまでもなく、家族は結婚した一組の男女によつて誕生します。つまり夫婦は家族の屋台骨であります。夫婦は一心同体が理想とされ、仲の良い夫婦は人々の称賛を浴びます。そして、夫婦円満の秘訣を知りたがりです。

結婚前の心構え
ここ20〜30年来、若い人々の結婚観に変化が見られます。以前は、婚約、結婚式、出産の順序で進んでいきましたが、最近では、妊娠(出産)、結婚式の順序で進む例が目立ちます。そこには、家族は社会の最小単位であるという伝統的価値観から離れて、個人的な事柄であるという考え方や、激動する社会の中で、

仕事と家庭の両立が難しい、という現実もあると思われまます。結婚を難しくしている現実があることは確かですが、それでも結婚しようとしている人たちはいるわけですから、教会はそのような人たちが幸せな結婚生活を送れるように最大の援助を惜しまないことは大切な使命であります。

そこで、結婚式で交わす「誓約」についてお話しします。教会の結婚式では、夫婦になる2人は、神と人々の前で、お互いに向かつて誓約を交わします。多くの人間にとって誓約は、神と人々に誓約を交わしていると思われ、向かつて誓約しているのです。神と参列している人々(司式者も含めて)はそのことの証人なのです。従って証人の使命としては、将来、この2人に離婚問題が生じた時には、結婚式での誓約を思い出すように促し励ますことがあります。

他方、結婚は「契約」でもありません。これは民法上不可欠なもので、婚姻届がなければ、法律上の恩恵は受けられません。人間に

は、精神的な面と身体的な面があります。教会の式で交わす「誓約」と社会の中で、責任と義務を果たすための「契約」があつて初めて、充実した結婚生活が営まれるのです。

平和を構築することが信者の使命

キリスト教伝来記念祭で司教が説教

聖母被昇天の祭日の8月15日(日)、恒例の「キリスト教伝来記念ミサ」が鹿兒島カテドラル・ザビエル記念聖堂でささげられた。2019年にザビエル上陸記念祭から名称変更し実施されているこの記念祭、今

年はコロナウイルス蔓延防止の観点から参列者を制限して実施された。午前10時から中野司教と3人の司祭、助祭1人で司式されたこの日のミサに参列したのは70人余りの信者。福音朗読後に説教した中野司教は、ザビエル祭の

奮闘中の夫婦愛
「夫婦は一心二体である」とか「元を正せば、赤の他人」という表現で、夫婦の愛情がよく語られます。私もこれらの表現に賛成します。聖書の表現によれば、「最も近い、隣人」であるとも言えます。最も愛すべき人が、最も身近にいるという現実には、「敵をも愛せよ」というイエスの命令を実行するに等しいも

のであると思います。この意味で、独身の私は、夫婦の方々に尊敬しています。教皇フランシスコは使徒的勧告「愛のよろこび」の中で、聖パウロの「愛の賛歌」(1コリント13・4〜7)を取り上げ、「夫婦が二人で、また子どもたちとともに日々を過ごす生活の中で、経験され、深められます」(同上 83ページ)と語りかけ、詳しい語句の解説を施しています。是非皆さんお読みください。

秘跡としての結婚

結婚は先に見たように必ずしも人間に幸福をもたらすものではないことは事実です。それは神が制定なさった神聖な制度そのものに原因があるわけではなく、

それを営む人間の側に要因があることをわきまえる必要があります。結婚がもたらす喜びや生きる希望など、何物にも代え難い恵みをもたらすものですが、人間の犯す罪がそれらを台無しにしてしまいます。それでも、教会は、傷ついて損害を被った結婚生活を修復し、元の姿に変えてくださるよう、結婚をキリストとの出会いである秘跡の場として高めたのです。このキリストと出会い、キリストの助けを得られる秘跡は、叙階の秘跡と同じく、「交わりと使命を育てる」秘跡として、カトリック教会のカテキズムで紹介されています。

最後に、あるご婦人のお話を紹介します。この方は、成人洗礼ですが、受洗前に夫にその許可を願ったところ、「俺とキリストのどっちを愛しているのか?」と問われました。そこで彼女は「あなたを」と愛したので、受洗したい」と答え、受洗の許可をもらいました。以来、彼女は、義父と義弟、それに自分の両親のお世話をしました。そして50代半ばで病魔に襲われ亡くなりました。生前彼女は私に話していました。

「短信」

▼宗派を超えて平和を祈る
西本願寺鹿兒島別院(鹿兒島市東千石町)の鐘が、鹿兒島の諸宗教の代表によつて8月6日(金)午前8時15分から打ち鳴らされた。これは鹿兒島県宗教者懇和会主催の平和行事の一つで、原子爆弾が広島に投下された時間に合わせて実施されたもの。カトリック教会からは、末吉卓也神父(教区本部・事務局長)と柄尾泰英神父(吉野教会)が参列し鐘を鳴らし平和を祈った。尚、コロナウイルス蔓延防止のために恒例の平和巡礼は中止となった。

訃報

▼チョン・ポプ・グオンさん
加世田教会主任司祭・鄭法鍾神父の令兄チョン・ポプ・ガンさんが8月1日午前1時頃帰天した。



7月25日(日)午後、教区本部を主会場に「みことばの分かち合い」について学ぶ班長研修会が開催された。この研修会は、シノドス信仰部会が主催したもので、班制度をよりよく生かすために不可欠な班集会に

みことばの分かち合いを学習

シノドス信仰部会主催「班長研修会」



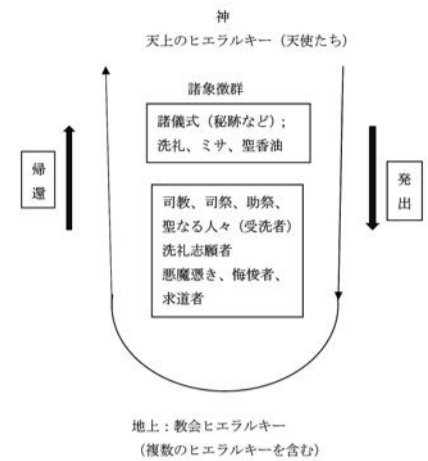
において充実させるべき班員による「みことばの分かち合い」の実施方法を学ぶのが目的。講師は、教区本部で事務局長補佐として働き、またシノドス事務局の中心でもある長野宏樹さん(枕崎教

会)。永年、長崎大司教区事務局で働き、日本カテキスタ会会員でもある長野さんは、聖書研究会とみことばの分かち合いの違いを分かりやすく説明、その上で「分かち合いでは復活したキリストを招くことが大切」とした。この日の受講者は教区本部来場とオンラインを使つての参加だったが、モデル実演を体験し、みことばの分かち合いの有効的な実施方を学習した。

信徒の皆さんが教会の中で主体的にもっと活躍できるようにと願って、この拙い連載を続けて来ました。最後に「ヒエラルキー」という言葉を取り上げます。

この言葉は偽ディオニシウス・アレオパギタという人の造語です。紀元500年頃、彼が書いたとされる一連のディオニシウス文書中の『天位階論』『教会位階論』に出て来る言葉です。ヒエラルキーという言葉は通常、会社その他の組織の上下関係を表す言葉として「階層」「序列」といった意味で使われます。上から下への命令(トップダウン)や支配、その背後に権力を感じさせますし、身分制社会すら連想させます。

ではディオニシウスはどのような意味を「ヒエラルキー」という言葉に持たせたのでしょうか。ディオニシウス自身の定義によると、「ヒエラルキー(位階)とは、できるだけ神に似たものになるところの、また神から自分に与えられた照明に、応じ自分の能力に従って神を模倣すべく上昇するところの聖なる秩序であり、知識であり、活動である」(164D)。これだけでは理解しにくいので、その直後の165A~Cまでを



「聖化の根源(つまり神)は、私たちのいと聖なる位階を設立するのには、天上の位階(複数)を超えた仕方で模倣するの考

え:」(121C)とっています。邦訳では一応、ヒエラルキーを位階と訳してあります。「天上のヒエラルキー」を模倣した形で「私たちのヒエラルキー」即ち教会が存在するので。そして歴史的にはその前に「律法のヒエラルキー」すなわち旧約時代の律法や祭司や諸々の聖なる儀式がありました。これらの感覚的かつ知的な象徴群を通して神への道が開かれていきました。

一致の道を歩むように神が備えてくださったものがヒエラルキーなのです。まず『天位階論』は天上の(つまり諸天使の)ヒエラルキーを述べたものですが、その中で教会のことを「私たちのヒエラルキー」という言い方で呼んでいます。

「命の泉」である三位一体の神である。特に「私たちのヒエラルキー」つまり教会の源と完成(目的)はイエスである。教会は、理性と知性を備えた私たちが救われ神と一致するために与えられた賜物である。天使たちが受けた賜物は、神的に伝達された書き物を通して、すなわち多種多様な複

紫原教会主任司祭

山口好信

ヒエラルキーという語について (1)

合わせて要約すると、単一で善なる方で完全の源である神から、その神的な光や恩寵や知識が上位の天使にもたらされるが、さらにその下位の天使や人にその分に、上位の者が下位の者を浄め、照らし、完全にしていくことであり、それによって下位の者が浄められ、照らされ、完全な者にされていく、つまり上へ昇って神に近づいていくためである。この全体がヒエラルキーであり、従ってヒエラルキーの目的・ゴールは神と一致です。罪によって神から離れた私たちが、善なる神によって浄化、照明、

「教会位階論」では、司教(ヒエラルケース)たちの聖なる諸活動、すなわち洗礼、ミサ(エウカリスチア)、聖香油の塗油・散香の3つ、そして聖職者の秩序や叙階式、一般信徒と修

て教会の最初の指導者たちに伝達された(376 BC)。教会というヒエラルキーも地上にあるわけですから、感覚的かつ理性的な複数の象徴群、複数のヒエラルキーから成っており、それらが統合的に働いて、神からのものを下位の者に順にもたらし、そして下位の者は上昇的に神に帰っていくという構造になっていると言えます。

象徴とは何かと言うと、ディオニシウスによれば、「例えは、洗礼は聖なる誕生のために、水の洗い清め」によって悪い生き方を捨てることを象徴するものですし、洗礼は死のイメージであり、肉体から分離した魂が不可視の霊的領域に赴く

またミサの前半部分で詩編を唱えることもヒエラルキーの神秘の一部ですし、聖書を読むことも秘跡を受けることもヒエラルキーの一部です。聖書の中の物語や未来についての預言も福音書のイエスの行為もすべてヒエラルキーの一部です(429CD)。旧約聖書で預言され、そのことが新約聖書のイエスの働きにおいて実現していることもヒエラルキー的秩序なのです(432B)。旧約時代の「律法のヒエラルキー」については先ほど少し述べました。ディオニシウスが「秘跡の中の秘跡」と呼んだミサの後半部分と聖職位階については次回紹介します。

以上、ディオニシウスが「ヒエラルキー」という言葉をもとに創り、そして用いたか、ある程度理解できるかと思えます。「教会位階論」の冒頭で「私たちのヒエラルキー(教会のこと)は、靈感を受けた神聖な、神的に働く知識(理解)、活動そして完成から成っている」(327A)とあります。これが先に紹介した『天位階論』でのヒエラルキーの定義164Dとほぼ同じです。ヒエラルキーは単数で用いられることでもあります。「イエスはあらゆるヒエラルキーの源であり完成である」など、複数でも用いられています。一なるヒエラルキーが多なるヒエラルキーの姿をとって現成していると言えます。紀元2世紀頃には教会の職制は整っていきま

道僧、最後に死者のことが論じられています。死者について論じているのは、ヒエラルキーの中でキリストの生き方を学び聖なる生活を送った者は天上の神のもとに帰っていくからです。発出と帰還という運動がヒエラルキーであると言えます(図を参照)。

ヒエラルキーの源泉は「命の泉」である三位一体の神である。特に「私たちのヒエラルキー」つまり教会の源と完成(目的)はイエスである。教会は、理性と知性を備えた私たちが救われ神と一致するために与えられた賜物である。天使たちが受けた賜物は、神的に伝達された書き物を通して、すなわち多種多様な複

またミサの前半部分で詩編を唱えることもヒエラルキーの神秘の一部ですし、聖書を読むことも秘跡を受けることもヒエラルキーの一部です。聖書の中の物語や未来についての預言も福音書のイエスの行為もすべてヒエラルキーの一部です(429CD)。旧約聖書で預言され、そのことが新約聖書のイエスの働きにおいて実現していることもヒエラルキー的秩序なのです(432B)。旧約時代の「律法のヒエラルキー」については先ほど少し述べました。ディオニシウスが「秘跡の中の秘跡」と呼んだミサの後半部分と聖職位階については次回紹介します。

以上、ディオニシウスが「ヒエラルキー」という言葉をもとに創り、そして用いたか、ある程度理解できるかと思えます。「教会位階論」の冒頭で「私たちのヒエラルキー(教会のこと)は、靈感を受けた神聖な、神的に働く知識(理解)、活動そして完成から成っている」(327A)とあります。これが先に紹介した『天位階論』でのヒエラルキーの定義164Dとほぼ同じです。ヒエラルキーは単数で用いられることでもあります。「イエスはあらゆるヒエラルキーの源であり完成である」など、複数でも用いられています。一なるヒエラルキーが多なるヒエラルキーの姿をとって現成していると言えます。紀元2世紀頃には教会の職制は整っていきま

奄美宣教再開記念ミサ
9月15日(水) 19時
聖心教会

※コロナウイルス蔓延防止のため参列は定められた人のみとなります。ご了承ください。

+KABAYAN SEKSYON+
Ang Pagiging Eukaristiya
 Sa paglalarawan sa Huling Hapunan, itinala ng ebanghelista si Mateo: "Habang sila'y kumakain, kinuha ni Hesus ang tinapay, at matapos magpuri sa Diyos, pinaghati-hati niya iyon at ibinigay sa mga alagad" (Mt 26:26).
 Ang apat na pangunahing mga kilos na ito-Kinuha, nagpuri, Pinaghati-hati, at Ibinigay-ay nasasalamon sa tawag sa atin para maging mga misyonerong tagasunod ni Kristo.
 Bilang mga Kristiyano tayo ay kinuha, pinili para sa paglilingkod sa Simbahan. Tayo ay pinili, hindi dahil sa dakila nating kahalagahan o natatanging kakayanan, ngunit dahil sa abot-abot na pagmamahal ng Diyos. Tayo rin ay pinagpala, pinagyaman sa maraming mga biyaya(pamilya, mga kaibigan, pamayanan, binyag at pananampalataya).
 Muli, lahat ay dumadaloy mula sa kagandahang-loob ng Panginoon. Magbabahagi ba tayo tulad ng Diyos na buong laya at bukas-palad na nagbibiyaya sa atin (tgn Mt. 10:8)?
 Kinuha at pinagpala, kailang pahintulutan natin ang sarili na paghati-hatiin. Tanging kapag pinaghati-hati lamang ang tinapay saka ito maialay sa buong sangtinakpan; kailangan tayong paghati-hatiin para magkaroon ng pagmamalasakit at pakikipagkapatiran sa sangtinakpan na naghihirap at nagdurusa.
 Ang pinakahuling element ng Eukaristiya ay ang pagbibigay.
 Sa Eukaristiya, ibinibigay ni Hesus ang sarili sa atin; ngayon ang ating pagkakataon para paghati-hatiin at ibigay, upang maging pagkain at buhay para sa iba, upang maging "tinapay ni Kristo" para sa daigdig.
 Si Hesus mismo ang nagsabi, "Ako ang pagkaing nagbibigay-buhay na bumaba mula sa langit. Mabubuhay magpakailanman ang sinumang kumain nito. At ang pagkaing ibibigay ko sa ikabubuhay ng sanlibutan ay ang aking laman."(Jn 6:50-51)
Hesus, Ang Mukha ng Habag ng Diyos
(Fr.Dino Orolfo)

*引用&参考図書
 Pseud-Dionysius, The Complete Works, translated by Colm Luibheid (Classics of Western Spirituality, New York 1987), 『中世思想原典集成3』平凡社。

研修で幼児教育の心を学習

自百合幼稚園 松本五十鈴

8月2日(月)、3日(火)の2日間、教区で働く幼稚園関係者の研修会が教区本部を主会場にオンラインを利用して実施されました。初日の講師は福岡教区の山元眞神父さま。山元神父さまは「教皇フランシスコ訪日に同行して思ったこと」をテーマに「カトリックについて、またその精神に

秘訣を紹介してください、「まずは職員室が平和であるように」という指摘は受講者の心にしみました。そして何よりもお祈りの際の沈黙の大事さに気付かされました。何のために静かにするのかが子どもにも繰り返し伝える必要があることも痛感しました。

摘も重たく受け止めたことでした。2日目はシスター林悦子(純心聖母会)のお話を聞かせていただき、改めてモンテッソーリ教育の原点を見つめ直すことができました。教師が愛をもって子どもたちに接すること、日々の保育の一つひとつ一瞬一瞬を大事にするという基本的なことを大切にしていきたいと思えました。初のオンライン研修会でしたが心に残るものとなりました。

ため「地上最後の楽園」とも呼ばれている。★広大な自然はタンナイト(見る位置によって色輝きが異なるダイヤモンド)を埋蔵、最大の産出国でもある。以上の情報からデザインが起こされた。着物に対する既成概念にとらわれることなく、同時に本場大島紬の伝統工芸品として指定されている先染め緋織物である特徴との両立を目指したもので、出来栄えとは別に楽しく制作に取り組めた印象に残る作品になった。

夢見る大島紬

KIMONOタンザニアの誕生

KIMONOプロジェクト「一般社団法人イマージナルワールド」の創始者・高倉慶広氏が日本文化の象徴であり、日本伝統工芸の重要な位置を占める着物文化の次世代への継承と発展に資するため「世界のKIMONOを創る」という手法を採用、着物業界に働きかけたのが2014年。その4年後の2018年に「世界のKIMONO100ヶ国完成記念式典」を開催。低迷にあえぐ着物業界は国際色豊かなこの記念式典の実績に魅せ

られた。さらにKIMONOプロジェクトの高邁な趣意に賛同、私は大島紬が世界とつながるチャンスと捉え、制作の意思を伝えたところ、高倉慶広氏から指定依頼された国が「タンザニア」であった。さらに着物文化を世界に広めるという観点から制作したKIMONOは東京オリンピックの場で披露されるという計画もあり、夢のある作品の制作に取り組むことになったのである。制作にあたり、まずはデザイン構築のためにタン



ザニアのお国柄を調べる必要が生じた。★タンザニア連合共和国(国連加盟1961年(因みに日本の加盟は1956年)★アフリカ大陸の東部に位置し、北部にアフリカ最高峰のキリマンジャロがそびえる。★国旗(青と緑の地に黄色の斜線、首都はドドマ、言葉はスワヒリ語(国語)と英語(公用語)★宗教(イスラム教(40%)、キリスト教(40%)、土着宗教(20%))★国土面積は日本の2.5倍、人口は5632万人★国立自然公園「セレンゲティ」(果てしなく広がる平和の意)は、四国の面積に匹敵する。★300万頭を越す大型野生動物が暮らす

右袖にキリン、左袖にダイヤモンド、身頃にはキリマンジャロを背景に、象、サイ、ライオンなどの大型野生動物、裾には国名を配した着物では考えられない奔放で明るいKIMONOとなり、昨年10月には京都の京セラ美術館で213カ国のKIMONO制作完了祭典が盛大に開催され、その仲間入りを果たすことができた。東京オリンピック・パラリンピックでの披露は叶わぬ夢となったが、日本の文化・大島紬が世界のKIMONOとして受け入れられるようさらに研鑽を重ねていきたい。(吉野教会 中江均)

イエス様の御変容の場面については嘗てお話ししました(2017年1月)。私たちはどうしてもその事実性を考えてみたくなるものです。しかしそこでの表現や言葉が何を意味しているのかという視点を欠くのなら重要なことを読み落とすことになってしまいます。そこでモーセとエリヤが現れて「イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について話していた。」という解説部分に着目して考えてみましょう(ルカ9・31)。

ここで「最期」と訳された言葉は原語では「この世からの出立」を意味する一語です。この言葉は全福音書を通じてルカにしか見られません。であれば福音記者

とはこの世から復活の命へと至る過程であり、刹那から永遠へと存在の在り方が変わることを指します。また、「遂げようとしておられる」という表現と似たものがイザヤの預言に見られます。そこには「神は驚くべき計画を成就された」とあります(25・1〜2)。となるとイザヤを踏まえればイエス様の最期、即ち、十字

架上の死とは神様の御計画のうちにあるということですから、神様が愛する独り子であるイエス様を死に委ねるとはどういうことでしょうか。それは神様がご自分の身許におられた永遠の存在であるイエス様を死すべき刹那的な存在としてこの世に遣わされたということですね。人間は神様から愛された存在なので、本来なら創造主の御許で永遠に生きることができるとは思えません。なぜなら、神様は被造物

《康由神父の聖書教室(42)》

イエス様の最期を巡って

ものがイザヤの預言に見られます。そこには「神は驚くべき計画を成就された」とあります(25・1〜2)。となるとイザヤを踏まえればイエス様の最期、即ち、十字

架上の死とは神様の御計画のうちにあるということですから、神様が愛する独り子であるイエス様を死に委ねるとはどういうことでしょうか。それは神様がご自分の身許におられた永遠の存在であるイエス様を死すべき刹那的な存在としてこの世に遣わされたということですね。人間は神様から愛された存在なので、本来なら創造主の御許で永遠に生きることができるとは思えません。なぜなら、神様は被造物

を創ったまま放つてはおかれないからです。それにもかかわらず人間が死んだままになるのは、パウロによれば罪に原因があります(ロマ書5・12参照)。であれば、罪が赦されることによつて永遠の命に与ることができるとは思えません。これが神の栄光を受けるといふことなのです。つまり、イエス様の御変容とは神の国が実現した暁に於ける私たちの姿の先取りとしても考えられるのではないのでしょうか。

会と催し 9月

- 1日(水) すべてのいのちを守る月間・10月4日
- ▼川淵勇神父命日(1997年)
- 5日(日) 年間第23主日
- ▼被造物を大切にしよう世界祈願日
- 6日(月) 朴鎮亮神父叙階記念(2015年)
- 7日(火) みことばを祈る集い・ザビエル教会・10時
- ▼牧山重光神父命日(2005年)
- 8日(水) 聖マリアの誕生
- ▼中野アカデミー・教区本部・19時
- ▼七田和二郎神父命日(1989年)
- 12日(日) 年間第24主日
- ▼十字架称賛
- 14日(火) コンベンツス・教区本部・10時
- ▼奄美宣教再開記念ミサ・聖心教会・19時
- 15日(水) 鹿児島教区司教座教会献堂記念日
- ▼正義と平和協議会・教区本部・13時
- 18日(土) 年間第25主日
- ▼桃蘭淳一郎助祭叙階記念(2005年)
- ▼久保俊弘助祭叙階記念(2005年)
- ▼レジオナリエ鹿児島コミチウム・谷山教会・14時
- 21日(火) 聖マタイ使徒福音記者
- ▼中野アカデミー・教区本部・19時
- 22日(水) 中野アカデミー・教区本部・19時
- ▼朴親奎神父叙階記念(2016年)
- 23日(木) ダニエリ神父命日(2003年)
- ▼バルビニ神父命日(2004年)
- 25日(土) パストラルケア・教区本部・14時
- ▼青年会・鴨池教会・18時30分
- 26日(日) 年間第26主日
- ▼世界難民移住移動者の日(献金)
- ▼オリブの会及び共にこの道・教区本部・14時
- ▼メニヒ神父叙階記念(1959年)
- ▼松永正男神父命日(聖ビンセンチオ)
- ▼聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使
- 29日(水) 中野アカデミー・教区本部・19時
- ▼ティエン神父命日(聖ガブリエル)
- ▼竹山昭神父命日(2019年)
- ▼【司教日程】6日愛の聖母園、8日聖血礼拝会及び中野アカデミー、14日コンベンツス、15日奄美宣教再開ミサ、22日中野アカデミー、25〜26日徳之島、29日中野アカデミー

祈りの意向

【祈祷の使徒会】
世界共通 環境に配慮した持続可能な生活
日本の教会 すべてのいのちの尊重

中野アカデミーからお知らせ
「中野アカデミー」では9月から教区フランシスコの「回勅 ラウダート・シー」とともに暮らす家を大切に(カトリック中央協議会 2016年発行)の解説を始めます。参加者は当本をご持参ください。

教区シノドス これからどう進む⑫

み言葉の分かち合いとは

(5)「み言葉選びと黙想そして分かち合い」(第三、四、五段階)

教区シノドス推進会事務局

長野 宏 樹

「み言葉の分かち合い」では、聖書を朗読した後、その中から自分の心に響いた言葉あるいは短い文章を一人ひとりが選び、それを声を出して数回読みます。その後、全員がそのみ言葉についてしばらく黙想します。それから、その黙想の中で神から語りかけていたことなど、感じたことについて分かち合いをします。

1. み言葉選び (第三段階)
① 聖書の言葉は宝石のようなもの
一人ひとりが選んだ単語あるいは短い文章は、聖書の中に隠されている宝石のようなものです。この段階が「宝を掘る」段階だと言われるのは、聖書の中の単語や文章が貴重な「宝」だと考えられているからです。左の絵は、ある人がその「宝」を見つけたときの様子を表現したものです。

② 単語や短い文章の選び方
読まれた聖書の中から「心に響いた」あるいは「何となく気になった」言葉を選びます。聖書は神の言葉で「隠された宝石」のようなものですから、難しく考えないで、とにかく選んでみます。

言葉を選ぶときは、自分に一番大切だと思える単語や文章を選びたいようになります。神は、ご自分が選ばれる言葉を通して私たちと出会うことを希望しておられます。だから、私たちが自分の好きな言葉を選んでしまうと、神が与えようとしておられるも



のを得られなくなる恐れがあります。どんな単語であつても私たちが感動させることができるのですから、神の決定にお任せするように心がけま

また、外面的に見れば意味がないように思える語句、たとえば「主はお座りになった」などという語句であつても、祈りの心を込めて静かな声で何度か読んでいくうちに、いつの間にか、自分がイエスのすぐ隣りに座っていることに、またそのイエスに愛されていることに気づかせてくれるようになるはず

③ 言葉の読み方
この段階では、一つの言葉あるいは短い文章(節)を選び、それを祈るような感じで3回大きな声で読みます。自分が言葉を繰り返している間や他の人が繰り返している間には、この言葉が心の中でこだましていくように、少し間をとり、沈黙を守ります。この沈黙の長さは、心の中でその言葉を1回か2回繰り返せる程度がよいでしょう。

選んだ言葉をだれかが読んでいくときは、他の人は静かに聞いています。たとえば、マタイ20・29-34を朗読した後では、次のような形になる

【一番目の人】

【二人の盲人】(沈黙)

【二人の盲人】(沈黙)

【二人の盲人】(沈黙)

【二番目の人】

【わたしたちを憐れんでください】(沈黙) ×3回

【三番目の人】

【目を開けていただきたいのです】(沈黙) ×3回

2. 神の声に耳を傾ける (第四段階)
「言葉の選択」が終わると再度聖書の同じ箇所を読み直しますが、その次に進行係は、「私たちに語りかけてくださる神のみ言葉を、3分間、沈黙のうちにお聴きしましょう」と参加者たちに伝えます。

① 一定の時間を伝える理由
参加者たちが沈黙の時間をもつて知っていたら、安心して神の語りかけに耳を傾けることができるようになります。そのために、進行係は自分の時計を何度か見るようになります。

② 沈黙の時間に行うこと
前の段階で自分が選んだ他の人が選んだものでもよい言葉や文章を繰り返す味わいます。
何度も何度もその言葉を繰り返しながら、神の語りかけに耳を傾けます。じつと主のおそばに座りながら、「心の目」を使って主を見つめていきます。
心が不安や心配ごとなどで一杯の場合でも、心の平和や

③ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

④ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

KJJP (鹿児島正義と平和協議会) 通信 9月号

正義の入り口

今年の8月10日のNHKスペシャル「忘れられた戦後補償」を見て、国が民間戦争被害者への補償を一貫して避け続けてきたことを知りました。私の近所にも戦時中子供に米軍の戦闘機に銃撃され、足を撃ち抜かれた老人がいます。その老人は空襲被害者ですが、国から何の補償も受けていないといっています。

他方国は、戦場で命を落とした軍人軍属やその遺族などに対し、これまで60兆円の補償を行ってきました。国家総動員法によって民間人も戦争への協力が義務付けられたのですから、民間の戦争被害

静けさを望みながら、自分のすべてを主に託し、主が語りかけてくださる言葉にじつと聴き入ります。

③ 感じたことを分かち合う (第五段階)
この段階では、自分がどうしてその単語を選んだのかと沈黙の時間に自分の「心に響いた」ことなどについての、個人的な分かち合いをします。

① 自分の体験などを分かち合う
参加者たちは、「私はこの単語に心が引かれました。なぜなら：」とか、「私はこの文章に感動しました。なぜなら：」などと言いつつ、その言葉と重なる自分の体験などについて分かち合いを始めます。
自分の体験などを話せないような人は、「私はこの言葉に心が引かれました」と言うだけで終わってもかまいません。

② 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

③ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

④ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

静けさを望みながら、自分のすべてを主に託し、主が語りかけてくださる言葉にじつと聴き入ります。

③ 感じたことを分かち合う (第五段階)
この段階では、自分がどうしてその単語を選んだのかと沈黙の時間に自分の「心に響いた」ことなどについての、個人的な分かち合いをします。

① 自分の体験などを分かち合う
参加者たちは、「私はこの単語に心が引かれました。なぜなら：」とか、「私はこの文章に感動しました。なぜなら：」などと言いつつ、その言葉と重なる自分の体験などについて分かち合いを始めます。
自分の体験などを話せないような人は、「私はこの言葉に心が引かれました」と言うだけで終わってもかまいません。

② 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

③ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

④ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

静けさを望みながら、自分のすべてを主に託し、主が語りかけてくださる言葉にじつと聴き入ります。

③ 感じたことを分かち合う (第五段階)
この段階では、自分がどうしてその単語を選んだのかと沈黙の時間に自分の「心に響いた」ことなどについての、個人的な分かち合いをします。

① 自分の体験などを分かち合う
参加者たちは、「私はこの単語に心が引かれました。なぜなら：」とか、「私はこの文章に感動しました。なぜなら：」などと言いつつ、その言葉と重なる自分の体験などについて分かち合いを始めます。
自分の体験などを話せないような人は、「私はこの言葉に心が引かれました」と言うだけで終わってもかまいません。

② 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

③ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

④ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

静けさを望みながら、自分のすべてを主に託し、主が語りかけてくださる言葉にじつと聴き入ります。

③ 感じたことを分かち合う (第五段階)
この段階では、自分がどうしてその単語を選んだのかと沈黙の時間に自分の「心に響いた」ことなどについての、個人的な分かち合いをします。

① 自分の体験などを分かち合う
参加者たちは、「私はこの単語に心が引かれました。なぜなら：」とか、「私はこの文章に感動しました。なぜなら：」などと言いつつ、その言葉と重なる自分の体験などについて分かち合いを始めます。
自分の体験などを話せないような人は、「私はこの言葉に心が引かれました」と言うだけで終わってもかまいません。

② 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

③ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

④ 沈黙の時間を感じたことを分かち合う
前の段階で自分が選んだ言葉について分かち合いをしてもよいのです。
そのような分かち合いを続けているうちに、参加者たちはそこにキリストが実際においでになり、自分たちに語りかけてくださっておられるという気持ちを抱いてくるに違いありません。

社会問題の分かち合い

日時：9月18日(土) 13時-16時

場所：教区本部
内容：原発・改憲・沖縄問題についての情報交換